

年 間 授 業 計 画			
1 科目名	現代文B	2 履修学年	3学年
3 必修・選択	必修	4 履修単位	3単位
5 教科書	新編現代文B改訂版(大修館書店)		
6 副教材等	プライム常用国語(第一学習社)、トータルサポート新国語便覧(大修館書店)		
7 学習目標	○様々な文章に触れて、読解力・思考力・想像力を養うとともに、自分の感覚・思考を表現する力を育てる。 ○韻文の表現・歴史を学び、内容にふれて鑑賞する。現代評論にふれ、自分の思考と問題意識を深める。		
8 年間授業計画			
月	学 習 単 元	学 習 事 項 等	
4	「どんな人になりたかったか？」 大江健三郎	○筆者が理想とする人間像を読み取る。 ○読み取ったことをふまえて、自分が「どんな人になりたかったか」「どんな人になりたいか」を書く。	
5	小説を読む(二) 『おぼろ月』 藤沢周平	○風俗の描写など、時代小説の魅力を味わう。 ○登場人物の心情が何をきっかけにどのように変化したのかを読み取る。	
6	伝統を受け継ぐ 「和の思想、間の文化」	○日本文化に通底する「和」やそれを支える「間」について、筆者の考えを理解する。	
7	短歌・俳句に親しむ 正岡子規、長塚節、与謝野晶子 高浜虚子、水原秋桜子など	○短歌の特色を理解し、鑑賞する態度や方法を学ぶ。 ○俳句の特色を理解し、俳句を鑑賞する態度・方法を学ぶ。	
9	社会に生きる 「幸せの分量」立花和平	○現代社会における幸せとは何かについて、筆者の主張を読み取る。 ○読み取ったことをもとに、仕事と人生について考えを深め、文章をまとめる。	
10	名作を読む(二) 『こころ』夏目漱石	○場面ごとの登場人物の心情とその変化、登場人物の人物像を読み取り、作品の主題を考える。 ○比喩表現など表現上の工夫を読み取り、その効果を考える。	
11	同上	同上	
12	同上	同上	
1	現代を考える 「敬語への自覚、他社への自覚」	○小説のより深い鑑賞と読解の力を身につけることができる。 ○働くこと、生きることをめぐる小説を読むことで、自己と世界との関わりを見つめ直し、同世代への興味を抱く契機とすることができる。	
2			
3			
9 評価の観点・方法			
定期考査を中心に、課題の提出状況・小テスト・授業への取り組みなどを含めて総合的に評価する。			
10 学習上の留意点			
授業に積極的に参加し、自身でよく考えること。			